



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月15日

上場会社名	ヒラキ株式会社	上場取引所	東
コード番号	3059	URL	https://company.hiraki.co.jp
代表者 (役職名)	代表取締役	(氏名)	梅木 孝雄
問合せ先責任者 (役職名)	現業支援本部長	(氏名)	高下 幸弘
定時株主総会開催予定日	2026年6月26日	配当支払開始予定日	(TEL) (078) 967-4601 2026年6月29日
有価証券報告書提出予定日	2026年6月29日		
決算補足説明資料作成の有無	: 有		
決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	11,895	△8.2	△320	—	△313	—	△426	—
2025年3月期	12,960	△2.7	△3	—	△0	—	△771	—
(注) 包括利益	2026年3月期		△383百万円 (—%)		2025年3月期		△775百万円 (—%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	△87.66	—	△6.8	△2.1	△2.7
2025年3月期	△158.59	—	△11.2	△0.0	△0.0

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	14,422	6,001	41.6	1,232.92
2025年3月期	14,988	6,482	43.2	1,331.80

(参考) 自己資本 2026年3月期 6,001百万円 2025年3月期 6,482百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	△86	2,315	△294	4,616
2025年3月期	163	△0	△342	2,680

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	97	—	1.4
2026年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	97	—	1.6
2027年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00		97.3	

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,200	1.3	90	—	80	—	50	—	10.27
通期	12,500	5.1	150	—	140	—	100	—	20.54

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	5,155,600株	2025年3月期	5,155,600株
2026年3月期	288,193株	2025年3月期	288,193株
2026年3月期	4,867,407株	2025年3月期	4,867,407株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	11,895	△8.2	△324	—	△323	—	△436	—
2025年3月期	12,960	△2.7	△11	—	△6	—	△778	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	△89.73	—
2025年3月期	△159.84	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	14,403	6,017	41.8	1,236.31
2025年3月期	15,007	6,507	43.4	1,336.93

(参考) 自己資本 2026年3月期 6,017百万円 2025年3月期 6,507百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復基調で推移した一方で、継続的な物価上昇に伴う実質賃金の低迷などにより消費者の生活防衛意識が高まった状態が続いております。また、米国の通商政策動向や中東情勢などの地政学的なリスクの長期化などが景気減速要因として懸念されており、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは当期の基本戦略を「商品力の強化＝価格から価値へ」とし、価格以上の価値をお客様にお届けすべく開発体制を強化し、顧客満足度の高い商品の提供を目指してまいりました。しかしながら、通信販売事業の売上が計画を下回ったことを主因として、当連結会計年度における連結売上高は、118億95百万円（前期比8.2%減）となりました。利益面は、減収の影響により営業損失は3億20百万円（前期は営業損失3百万円）、経常損失は3億13百万円（前期は経常損失0百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は4億26百万円（前期は当期純損失7億71百万円）となりました。

当社グループの報告セグメントの当連結会計年度における業績は、次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、商品面では低価格帯の販売促進商品を含む春夏・秋冬新品を800点以上投入したほか、新たな試みとしてインフルエンサーとのコラボ商品を19点投入した結果、30代を主に新規顧客獲得に繋がりました。また、2024年8月発売の『立ったまま履ける「SP-ON」』は、4月以降新たに18アイテムを投入したことに加えて、まとめ買い割引等で拡販した結果、当期中販売足数は12万足に達しました。販売促進面では新規施策としてアンバサダー・オーディション型投稿PRを行ったほか、2月より上場20周年キャンペーンとして「感謝価格商品の販売」「謝恩クーポンの配布」等の施策を実施し、新規顧客および既存顧客の受注獲得に努めました。しかしながら、受注の牽引役となる販売促進商品の不振および残暑の影響を受けた秋冬季節商品の売れ行きの伸び悩み、その他商品についてもお客様のニーズに応えられる価格と商品の価値を明確に訴求することができず、受注件数が前年を下回りました。この結果、売上高は52億19百万円（前期比15.0%減）となりました。利益面は、広告宣伝費を主に販管費を削減いたしましたが、減収の影響が大きくセグメント損失は31百万円（前期はセグメント利益2億3百万円）となりました。

② 店舗販売事業

店舗販売事業におきましては、総合店の日用雑貨および当期中に5か店の新規出店を行った靴専門店が堅調に推移したほか、重点販売商品である「SP-ON」は当期中約7万足を販売し好調な伸びとなりましたが、長引く残暑の影響により衣料を中心に秋冬季節商品が伸び悩んだほか、競合店の出店により下期の売上に影響を受けました。この結果、売上高は65億35百万円（前期比1.4%減）となりました。利益面は、減収に加え専門店新規出店に係る費用増加等が影響し、セグメント利益は1億34百万円（前期比24.0%減）となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、既存取引先との取引強化および新規取引先の獲得に努め、一定の成果を得られましたが、主力取引先について販売が振るわず、前年売上を下回りました。この結果、売上高は1億41百万円（前期比26.1%減）となりました。利益面は、販管費の削減に努めましたが、減収の影響によりセグメント損失は3百万円（前期はセグメント利益6百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ4億31百万円減少し、98億85百万円となりました。これは、現金及び預金が4億64百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億35百万円減少し、45億36百万円となりました。これは、建物及び構築物が1億75百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ5億66百万円減少し、144億22百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ66百万円減少し、33億89百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が62百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ18百万円減少し、50億31百万円となりました。これは、長期借入金が87百万円、リース債務が20百万円減少し、繰延税金負債が88百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ85百万円減少し、84億20百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億81百万円減少し、60億1百万円となりました。これは、利益剰余金が5億24百万円減少したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.6ポイント低下し、41.6%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、「投資活動によるキャッシュ・フロー」で得られた資金を、「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「財務活動によるキャッシュ・フロー」で使用した結果、前連結会計年度末に比べ19億35百万円増加し、46億16百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、86百万円（前期は1億63百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失3億37百万円、棚卸資産の増加額1億14百万円、減価償却費2億78百万円の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、23億15百万円（前期は0百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入63億円、定期預金の預入による支出39億円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、2億94百万円（前期比13.9%減）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出21億50百万円、長期借入れによる収入20億円によるものであります。

(4) 今後の見通し

(次期(2027年3月期)の見通し)

今後の経済情勢は、米国政権の政策や中東情勢について不確実性が高まるほか、円安の継続やエネルギー価格・人件費の高騰による物価上昇によって、消費者の節約志向が継続・進行する懸念があるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が予想されます。

このような状況の下、次期は「ローコスト経営の徹底」および「未来への土台づくり」を基本戦略として、固定費の削減や業務効率化を徹底し、無駄を省いて筋肉質な経営体質をつくとともに、商品・サービスの見直し、新市場の開拓、人材育成など、将来の成長につながる投資を進め、価格以上の価値をお客様にお届けしてまいります。そのために、中期経営計画に掲げる重点取組10テーマを推進し、売上高の増加と持続可能な利益の創出に取り組んでまいります。

通信販売事業におきましては、開発体制の見直しによるリードタイムの短縮とオリジナル商品の強化を進めるとともに、SNS等を活用した広告の強化によりWEBサイトへの集客増加を図り、新規顧客の受注増加に取り組んでまいります。さらに、広告宣伝費の効率的な運用を図るべくデータ分析に基づくカタログの構成・配布方法の最適化を進めてまいります。

店舗販売事業におきましては、岩岡本店のおかし館・アーケード・アウトレット館の更なる活性化および各種イベントの開催頻度を上げることで賑わいの創出を図ってまいります。また、靴専門店モデルの標準化と継続的な出店および全店でのオリジナル商品の販売拡大に努めることによって、売上高増加および売上総利益率の向上に取り組んでまいります。

卸販売事業におきましては、売上高増加を第一に、主要取引先との取引増加とこれに続く柱となる取引先へのODM営業の強化、売上総利益率の高い大卸しの新規取引先開拓および取引の継続化を図ってまいります。

以上の取り組みを達成することによって、重点取組10テーマの推進を確たるものとし、持続的な業績向上につなげてまいります。2027年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は125億円(前期比5.1%増)、営業利益は1億50百万円(前期は営業損失3億20百万円)、経常利益は1億40百万円(前期は経常損失3億13百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は1億円(前期は当期純損失4億26百万円)を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当方は日本基準を採用することとしております。IFRS(国際財務報告基準)の適用時期は決定しておりませんが、今後の動向を注視して、IFRS適用の検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,480,986	6,016,320
売掛金	769,508	680,116
商品	2,834,965	2,991,813
未着商品	126,169	84,450
貯蔵品	11,254	10,566
その他	100,398	107,178
貸倒引当金	△6,160	△4,609
流動資産合計	10,317,122	9,885,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,404,564	7,390,787
減価償却累計額	△5,752,561	△5,913,875
建物及び構築物（純額）	1,652,003	1,476,911
機械装置及び運搬具	137,750	139,700
減価償却累計額	△126,899	△132,044
機械装置及び運搬具（純額）	10,850	7,656
土地	2,589,106	2,589,106
建設仮勘定	5,335	32,900
その他	950,519	967,134
減価償却累計額	△789,109	△832,418
その他（純額）	161,410	134,715
有形固定資産合計	4,418,705	4,241,289
無形固定資産	52,135	33,448
投資その他の資産		
投資有価証券	126,497	169,465
繰延税金資産	6,137	—
その他	67,972	91,998
投資その他の資産合計	200,607	261,464
固定資産合計	4,671,448	4,536,202
資産合計	14,988,570	14,422,037

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	723,490	702,985
1年内返済予定の長期借入金	1,917,616	1,855,133
未払金	520,360	550,083
未払法人税等	25,351	7,741
賞与引当金	102,134	100,718
契約負債	13,707	11,962
その他	153,443	161,170
流動負債合計	3,456,103	3,389,794
固定負債		
長期借入金	4,718,307	4,630,718
退職給付に係る負債	201,481	203,685
資産除去債務	54,205	63,475
その他	76,061	133,262
固定負債合計	5,050,055	5,031,142
負債合計	8,506,159	8,420,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	4,965,282	4,441,243
自己株式	△154,633	△154,633
株主資本合計	6,410,091	5,886,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,773	83,838
繰延ヘッジ損益	7,919	23,173
為替換算調整勘定	9,627	8,037
その他の包括利益累計額合計	72,320	115,049
純資産合計	6,482,411	6,001,101
負債純資産合計	14,988,570	14,422,037

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	12,960,074	11,895,863
売上原価	7,106,903	6,608,265
売上総利益	5,853,171	5,287,598
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,524,269	1,412,282
販売運賃	580,501	489,863
貸倒引当金繰入額	6,024	3,433
給料手当及び賞与	1,810,715	1,796,277
賞与引当金繰入額	102,134	100,718
その他	1,833,340	1,805,585
販売費及び一般管理費合計	5,856,985	5,608,161
営業損失(△)	△3,814	△320,563
営業外収益		
受取利息	9,414	23,583
受取配当金	2,849	3,431
受取補償金	16,107	11,491
受取手数料	8,231	6,996
その他	9,901	10,847
営業外収益合計	46,504	56,350
営業外費用		
支払利息	34,236	47,174
為替差損	3,028	1,352
その他	5,817	1,194
営業外費用合計	43,082	49,720
経常損失(△)	△392	△313,934
特別損失		
減損損失	607,352	23,429
特別損失合計	607,352	23,429
税金等調整前当期純損失(△)	△607,745	△337,363
法人税、住民税及び事業税	25,824	14,952
法人税等調整額	138,333	74,374
法人税等合計	164,158	89,327
当期純損失(△)	△771,903	△426,691
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△771,903	△426,691

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純損失(△)	△771,903	△426,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,364	29,064
繰延ヘッジ損益	△17,963	15,254
為替換算調整勘定	△2,990	△1,590
その他の包括利益合計	△3,589	42,728
包括利益	△775,492	△383,962
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△775,492	△383,962
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	450,452	1,148,990	5,834,534	△154,633	7,279,342
当期変動額					
剰余金の配当			△97,348		△97,348
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△771,903		△771,903
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△869,251	-	△869,251
当期末残高	450,452	1,148,990	4,965,282	△154,633	6,410,091

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	37,409	25,882	12,618	75,910	7,355,252
当期変動額					
剰余金の配当					△97,348
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△771,903
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	17,364	△17,963	△2,990	△3,589	△3,589
当期変動額合計	17,364	△17,963	△2,990	△3,589	△872,841
当期末残高	54,773	7,919	9,627	72,320	6,482,411

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	450,452	1,148,990	4,965,282	△154,633	6,410,091
当期変動額					
剰余金の配当			△97,348		△97,348
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△426,691		△426,691
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△524,039	-	△524,039
当期末残高	450,452	1,148,990	4,441,243	△154,633	5,886,051

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	54,773	7,919	9,627	72,320	6,482,411
当期変動額					
剰余金の配当					△97,348
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△426,691
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	29,064	15,254	△1,590	42,728	42,728
当期変動額合計	29,064	15,254	△1,590	42,728	△481,310
当期末残高	83,838	23,173	8,037	115,049	6,001,101

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△607,745	△337,363
減価償却費	290,064	278,033
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△158	△1,551
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,103	△1,415
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,590	2,204
受取利息及び受取配当金	△12,263	△27,015
支払利息	34,236	47,174
為替差損益 (△は益)	1,770	△558
減損損失	607,352	23,429
売上債権の増減額 (△は増加)	130,329	89,273
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△35,396	△114,440
仕入債務の増減額 (△は減少)	101,563	△20,675
契約負債の増減額 (△は減少)	△3,324	△1,745
その他	△318,921	35,887
小計	183,995	△28,762
利息及び配当金の受取額	11,144	27,648
利息の支払額	△34,650	△48,310
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	2,540	△37,540
営業活動によるキャッシュ・フロー	163,029	△86,965
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,800,000	△3,900,000
定期預金の払戻による収入	3,930,000	6,300,000
有形固定資産の取得による支出	△128,093	△71,142
有形固定資産の売却による収入	109	-
投資有価証券の取得による支出	△2,401	△602
その他	△281	△12,686
投資活動によるキャッシュ・フロー	△667	2,315,568
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,000,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△2,195,072	△2,150,072
配当金の支払額	△97,337	△96,935
その他	△50,077	△47,792
財務活動によるキャッシュ・フロー	△342,486	△294,799
現金及び現金同等物に係る換算差額	512	1,529
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△179,611	1,935,333
現金及び現金同等物の期首残高	2,860,598	2,680,986
現金及び現金同等物の期末残高	2,680,986	4,616,320

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品を販売する業態別の事業部門を置き、各事業部門は取り扱う商品や顧客に対する販売促進施策等について包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は各事業部門を基礎とした販売業態別セグメントから構成されており、「通信販売事業」、「店舗販売事業」および「卸販売事業」の3つを報告セグメントとしております。

各事業の主な内容は次のとおりであります。

- (1) 通信販売事業・・・自社オリジナル商品を中心とした、カタログ、インターネットによる靴・履物、衣料品、日用雑貨品等の販売
- (2) 店舗販売事業・・・ディスカウント業態の店舗による靴・履物、食料品、衣料品、日用雑貨品等の販売および靴専門店による靴・履物等の販売
- (3) 卸販売事業・・・OEM開発商品を中心とした、大手小売店、量販店等への靴・履物等の販売

2. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会社方針に準拠した方法であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額(注2)
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,138,584	6,630,500	190,989	12,960,074	—	12,960,074
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,138,584	6,630,500	190,989	12,960,074	—	12,960,074
セグメント利益	203,678	176,826	6,127	386,631	△390,445	△3,814
セグメント資産	3,890,338	4,446,389	81,324	8,418,052	6,570,518	14,988,570
その他の項目						
減価償却費	116,663	158,387	6,768	281,818	8,245	290,064
減損損失	343,691	263,661	—	607,352	—	607,352
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	28,920	126,293	1,081	156,294	1,118	157,413

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△390,445千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額6,570,518千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に当社での余資運用資金(現金及び預金)および管理部門に係る資産等であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。
- 3 店舗販売事業の売上高は、受取家賃37,176千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額(注2)
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,219,644	6,535,133	141,085	11,895,863	—	11,895,863
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,219,644	6,535,133	141,085	11,895,863	—	11,895,863
セグメント利益 又は損失(△)	△31,289	134,305	△3,318	99,697	△420,261	△320,563
セグメント資産	3,887,876	4,430,960	54,756	8,373,593	6,048,444	14,422,037
その他の項目						
減価償却費	106,636	156,895	5,976	269,507	8,255	277,763
減損損失	23,429	—	—	23,429	—	23,429
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	36,854	66,194	411	103,460	2,133	105,593

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△420,261千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額6,048,444千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に当社での余資運用資金(現金及び預金)および管理部門に係る資産等であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。
 - 3 店舗販売事業の売上高は、受取家賃35,678千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産	1,331円80銭	1,232円92銭
1株当たり当期純損失(△)	△158円59銭	△87円66銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△771,903	△426,691
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	△771,903	△426,691
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,867	4,867

(重要な後発事象)

該当事項はありません。